

恵みの管理者

交わりの礼拝

2008/10/5

ペトロの手紙 I 4章8～11節

4:8 何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。
愛は多くの罪を覆うからです。

4:9 不平を言わずにもてなし合いなさい。

4:10 あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

ペトロの手紙Ⅰ 4章8～11節

4:11 語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。栄光と力とが、世々限りなく神にありますように、アーメン。

愛は多くの罪をおおう

- 愛することはすべてのことに優先する
 - 愛がなければ何の値打ちもない
- 「心を込めて」愛する
 - 小手先ではなく精一杯の愛で
- 愛は多くの罪をおおう
 - 愛は人の罪を包み無力化する
 - 神の愛は私たちのすべての罪をおおった

不平を言わずにもてなす

- 「もてなす」ことは与える幸せ
 - 自らすすんで誰かを喜ばせること
 - イエス様のもてなし
 - 五千人の給食・洗足・復活後のBBQ・・・
- 「不平を言わずに」
 - もてなすと不平が起こる
 - 「こんなにしてあげたのに・・・」
 - もてなせたことを喜ぶ
 - 成熟したクリスチャンのしるし

賜物を生かして仕える

- 神は私たちに賜物(カリスマ)を下さっている
 - それぞれ異なっているが必ず与えられている
 - 得意なこと・好きなこと・努力できること...
- 私たちは賜物の**管理者**である
 - 自分で造り出したものは何もない
 - 何をもらっているのか, どう使っているか
- 賜物は仕え合うために与えられている
 - 自分のためではなく誰かのため

神の栄光のため

- 「それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して、神が栄光をお受けになるためです。」
- 自分が誉められたり誰かが賞賛されるためではない
 - 評価されないことへの怒り・不平
- タラントンのたとえ
 - 「忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから...」